



第2回

市長賞

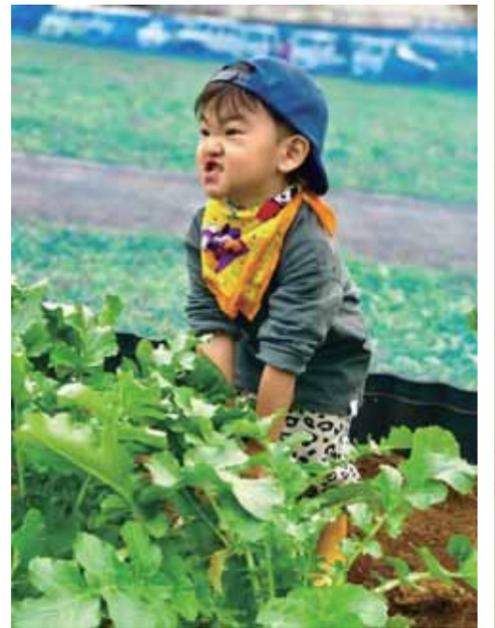
「息子が植えたのよ!」  
平井 哲実



第2回

立川農業振興会議会長賞

「おっめいの収穫」  
1hime2tarou\_mama



第2回

奨励賞

「たわわに実みかん」  
松島 国五郎



Instagram OK!



立川市内の農業を撮影した写真を募集しています。農業に関するものであれば、人、風景、野菜、畜産、農機具など、被写体は何でもOKです。立川の農業の魅力が伝わる作品をお待ちしています。プリント印刷またはInstagramの投稿による応募を受付します。お気軽にご応募ください。

「立川の農」写真コンテスト  
あなたが感じる立川の「農」を  
写真にしてみませんか

第2回

特別賞

「麦秋至」  
平方 朝彦



第2回

特別賞

「冬キャベツ収穫」  
本沢 七朗



第2回

奨励賞

「至福の時」  
前川 勝



第2回

奨励賞

「これがうどの根」  
trimagram



第2回

特別賞

「1玉の重み」  
kou\_pt74



第2回

特別賞

「おっめいの白菜」  
masa.t189



### 応募方法

- 点数 1人(Instagramにおいては1アカウント)3点まで
- 条件
  - ・プリント印刷(ネガ・ポジフィルムでの応募は受け付けません)
  - ・応募者本人が市内にて撮影した、未発表かつ応募者が一切の著作権を有しているオリジナル作品に限ります
  - ・サイズ等くわしい条件は、実施要項(市役所などで配布するほか、市ホームページ、添付した右2次元コードからダウンロードも可)をご覧ください。
- 提出方法 Instagram、または郵送等で産業観光課農業振興係(市役所2階48番窓口)内線2650へ
- 締め切り 令和4年1月5日(水)[持参は産業観光課窓口にて午後5時までに、郵送は当日消印有効、Instagramは当日午後11時59分投稿分まで]

### 選考・賞品

- 市長賞(賞状、賞品)1名
- 立川農業振興会議会長賞(賞状、賞品)1名
- 特別賞(賞状、賞品)若干名



賞品イメージ

### 今号の主な内容

- 1面…第3回「立川の農」写真コンテスト
- 2、3面…立川産農産物ブランド化プロジェクト進行中!、学校給食人気レシピ〜立川産農産物を使って〜、ここで買えます、立川産!
- 4面…育て!未来のタネ(立川市農研会)、災害時の農地利用

# 立川産農産物ブランド化プロジェクト進行中!

今年度、市では、立川産農産物をブランド化する取り組みを進めています。市内農家を代表して選ばれた10名のコアメンバーが「ブランド化」という同じゴールを目指して、5月からワークショップを重ね、意見を交わしています。立川市では、野菜をはじめ、植木、くだもの、畜産、花など多種多様な農産物を生産しています。ここに集まるコアメンバーも生産物や、営農形態、規模はさまざまですが、立川農業の魅力をもっと広く発信したいという同じ志を持つ生産者です。今後、立川農業ブランドのネーミングやロゴマークの発表を予定しています。ご期待ください。



## なぜブランド化なの?

「立川農業の価値やストーリーを発信し、立川農業のポテンシャルを日本中にお届けする」ためです。

立川には地域のために懸命に農地を維持し、高品質で多様な農畜産物を作る優秀な生産者がたくさんいます。しかし、PRが十分に行き渡っていないことにより、立川農業がもつ『高い技術力』や『こだわり』などの長所がたくさんの人に伝わっていないのが現状です。「日本で知らない人がいないほどのブランドになりたい…!」、その思いを胸にさまざまな意見を交わし、立川農業の発展に向けたPRの方法や異業種とのコラボについて検討を重ねています。

## ブランド商品(特産品)を作るの?

特定の商品のブランド化ではありません。立川産農産物全体を対象としたブランドネームやロゴマークによりPRする取り組みです。

## 具体的にどのように進めているの?

5月25日に第1回のワークショップをスタートし、現在までに6回のワークショップと、異業種の方との意見交換会を1回開催しました。ワークショップでは、ブランディングの手法を用いてターゲットの明確化や立川農業の価値を再確認するための意見を交わし、現在はブランドの『軸』を表現するネーミング案を検討中です。

## ここで買えます、立川産!

立川産農産物を豊富に取りそろえたお店をぜひご利用ください。新型コロナウイルス感染症の影響により、営業時間を短縮する可能性があります。

### ファーマーズセンターみのーれ立川

立川市砂川町2-1-5  
(国営昭和記念公園北側)

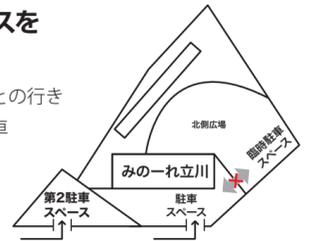


営業時間 午前10時～午後5時  
定休日 12月31日～1月4日  
電話 ☎042(538)7227



### 店舗西側の第2駐車スペースをご利用ください

店舗前の駐車場と臨時駐車スペースとの行き来ができなくなりました。店舗前の駐車台数には限りがあるため、店舗西側の第2駐車スペースを積極的にご利用ください。



### グリーンスプリングス2階にて出張販売を行っています

月に1回程度開催(不定期)。お見かけの際には、ぜひ立川産農産物を味わってください。  
グリーンスプリングス  
GREEN SPRINGS: 緑町3-1



## 学校給食人気レシピ ~立川産農産物を使って~

市内では四季折々さまざまな農産物が生産されています。秋に立川で採れる野菜を使った、児童に大人気の学校給食レシピをご紹介します。ぜひ作ってみてください。



### ジャージャー麺

市内の学校で人気を不動のものにしている、ジャージャー麺! 夏は、せん切りのきゅうりをのせると彩りも良く、さっぱりとした味わいになります♪

#### 材料 (2人分)

- |               |           |        |      |
|---------------|-----------|--------|------|
| 蒸し中華麺         | 2玉 (240g) | ごま油    | 適量   |
| 油             | 適量        | 豆板醤    | 0.2g |
| 水             | 50ml      | しょうが   | 1片   |
| 赤みそ           | 小さじ2      | にんにく   | 1/2片 |
| 砂糖            | 小さじ1      | ねぎ     | 1/4本 |
| しょうゆ          | 小さじ1      | 豚ひき肉   | 40g  |
| みりん           | 小さじ2/3    | たけのこ水煮 | 30g  |
| 中華スープのもと      | 小さじ1/3    | にんじん   | 1/4本 |
| 甜面醤           | 小さじ1      | たまねぎ   | 1/2個 |
| オイスターソース      | 少々        | 干しいたけ  | 1個   |
| かたくり粉         | 小さじ1      |        |      |
| 水(かたくり粉を溶かす水) | 大さじ2      |        |      |



多数の学校給食レシピを紹介しています。



#### 作り方

- しょうが・にんにくはみじん切りにし、たけのこ・にんじん・たまねぎ・干しいたけ(水で戻しておく)・ねぎはあらみじん切りにする。
- ごま油で豆板醤を炒め、しょうが・にんにく・ねぎ・豚ひき肉・たけのこ・にんじん・たまねぎの順に炒める。
- 水(50ml)を加え、干しいたけを加えて煮る。
- 調味料Aを入れて煮込み、味を調え、水溶きかたくり粉Eで、とろみをつける。
- 蒸し中華麺を油で炒め、4をかけてできあがり。



### 地場産農産物をプレゼント!

Instagramに投稿!

レシピを参考に料理をされた方で、「#立川育ち2021レシピ、#たらった立川」をつけてInstagramに投稿いただいた方の中から、抽選で3名の方に地場産農産物の詰め合わせをプレゼントします。

投稿締め切り: 令和3年9月15日(休)

\*1 たらった立川のInstagramアカウントをフォローしたうえで、投稿をお願いします。  
\*2 当選された方には、10月ごろを目安に投稿いただいたアカウントにダイレクトメールを送付いたします。送付後、1週間が経過してもご連絡が取れない場合は、無効とさせていただきます。

### みのーれ立川幸町店

立川市幸町1-14-1  
(東京みどり農業協同組合本店・敷地内)



営業時間 午前9時30分～午後4時  
定休日 12月31日～1月4日  
電話 ☎042(535)3711



### 地元農家のとれたて野菜 の一か所

立川市柴崎町3-14-3  
(令和2年度 立川市輝く個店 受賞店舗)



営業時間 午前10時～午後7時  
定休日 日曜日  
電話 ☎042(512)5415



# 育て！未来の夕ネ



## 立川市 農 研 会

活動の詳細についてはホームページに掲載していますのでぜひご覧ください。  
<https://tachikawashi-noukenkai.com/>



立川市農研会は、市内の野菜・果樹・植木農家の農業後継者で構成されている団体で、現在、43名の会員で活動しています。市内在住の親子を対象とした「収穫体験」や種まきから収穫までを行う「農業体験」、市内小学校での「食育・緑育授業」など、市と連携して、農業の楽しさや立川農業の魅力を市民の皆さんにPRする活動を行っています。

立川市農研会 会長 若松 克宗

### 食育

#### 「食育」ってなにしているの？

小学生を対象に、市内の農産物を身近に感じ理解を深めてもらうための授業を行っています。

#### 具体的にどんなことをするの？

パネルを用いて、立川農業の概要や主な農産物、さまざまな作物を生産していること(野菜・植木・くだもの・畜産・花)について説明します。



実際の農産物を用いながら、生育過程、収穫の様子、出荷方法、販売について説明したり、農具・農業機械の実演を行ったりしています。

### 緑育

#### 「緑育」ってなにしているの？

校庭にある樹木の名前や特徴などを楽しみながら覚えてもらい、未来を担う子どもたちに、緑の大切さを理解してもらうための授業を行っています。

#### 具体的にどんなことをするの？

児童の皆さんが作成した樹木名前プレートの取り付けをしたり、学校敷地内の樹木の種類を記した『みどりのちず』を校内に設置したりしています。



授業では、校庭内を歩いて回りながら樹木に関するクイズを行い、プレートを設置した樹木を中心に木の特徴、花や実の付く時期などを説明しています。

### 親子農業体験・収穫体験

#### 農業体験

春の『種まき』から始まり、『間引き』等を経て、初夏に『収穫』する全3回の農業体験です。

#### 収穫体験

カブやミニハクサイなど6種類の野菜の収穫を体験できます(今年も広報たちかわ9月25日号に募集記事を掲載予定。お楽しみに!)



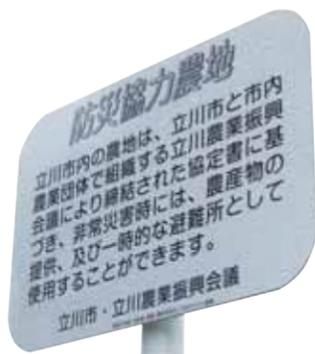
農研会は市から委託を受けて、これらの事業や使用する畑の管理・運営を行っています。当日は、収穫方法を説明したり参加者からの質問に答えたり、農業を身近に感じ、親しめる行事になっています。どちらも小学生のお子さんと保護者の方が対象です。

## 災害時の農地利用

立川市と立川農業振興会議(農業者の横断的組織)は、平成23年5月に防災協定を結んでいます。この協定は災害発生時、または発生するおそれがある場合において、農産物の供給および農地の使用について取り決めたものです。

### 防災協力農地

防災協定の周知啓発のために看板を設置しています。設置された農地だけではなく、立川の農地全体が防災協力農地です。もしもの時の避難場所として頼れる農地を覚えておいてください。



### 防災兼用井戸

防災兼用井戸は、通常時には農業用水を供給し、災害時には周辺住民へ生活用水を供給します。市内には非常用発電機を付加した防災兼用井戸が14基整備されています。



(令和3年3月末時点)

## たちかわ 農産物ガイドマップを配布しています

市内の農産物や直売所を紹介したガイドマップです。

立川農業の情報も掲載されています。野菜、果物の他にも、植木や切り花、鶏卵が購入できる直売所もあります。営業時間や事前連絡の必要性などをご確認のうえ、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか？



市役所2階産業観光課窓口、窓口サービスセンター、みのーれ立川などで絶賛配布中!

